

花たば通信

ボランティア 元気な内は人のため いつか自分が感謝する



No.75

2017 年 11 月号

発行 NPO 花たば

〒657-0831 神戸市灘区水道筋 6-7-14

電話 078-801-6632 FAX 078-801-6780

NPO 花たば 検索

2017クリスマス会ご案内！

- 12月17日(日)16時～18時
- コミュニティハウス 花たば 1 階 (灘組合員集会室)
- 参加費 1,000 円

立冬を過ぎ、お店には早くもクリスマスツリーを見かけるようになりました。早いものですね。さて、今年も花たばは、一年の締めくくりを皆で楽しむためにクリスマス会を開きます！

神戸港には、富山県氷見市の山中に自生していた樹齢 150 年の**あすなろ**の木が根っこごと運び込まれ、世界一大きいクリスマスツリーとなって飾られたそうです。私たちもみんな笑顔の年末を迎えましょう！



11 月 17 日メリケンパークに登場したクリスマスツリー。12 月 2 日～26 日は観覧イベント。(神戸新聞デジタル版より)

内容

- ◆聖歌隊キャンドルサービス
- ◆音楽と映像
- ◆ケーキカット
- ◆ちゅこっとクイズゲーム
- ◆何が当たるかな？外れなし福引大会

軽食用意しています。



参加申し込みは、花たば事務所(801-6632)へお願いします。

さんま祭いは 大盛況！

今年も

10月1日（日）第3回大船渡支援水道筋さんま祭りが開催されました。たくさんの方々の協力を得て、今年も1,500尾のさんまを焼き上げ販売しました。岩手県大船渡市も少しずつ復興に向けて整備が始まっていますが、高齢者の単身所帯では住宅再建もままならず復旧・復興の道はまだまだ険しい状況です。こうしたイベントを通して「東日本大震災被災を忘れない」とのメッセージ広げていきましょう。

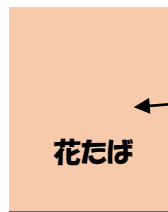


★よつば薬局の前では和太鼓の演奏。さんま祭りを盛り上げてくれました。大勢の方が足を止めて体中に響く太鼓に酔いしれました。

★東北支援カンパもぜひお忘れなく！とスタッフは頑張りました。



★花たばはスタッフ等150人分の昼食を担当、朝からおにぎりをせっせと握りましたよ～！



灘診療所

ネット事務所

ひだまり商店街

水道筋6丁目商店街

よつば薬局

ほっと花たば

★ほっとのお店も営業しました。

★晴天に恵まれ、次々訪れるお客さん。ピンクの花たばテントはさんま交換券売り場。目立ちます！



★焼き担当！応援に駆け付けた落語家・楽大さん(さんま焼き士)の指南を受け3年目の焼き具合はバッチリ！



★販売開始と共に飛ぶように売れるさんま、木陰で食べていく家族連れもありました。



スタッフの皆さん、お疲れ様でした！

みんなで支え合って生きる町へ

10月1日（日）、神戸の地域福祉を考える会（ひょうご福祉ネット・神戸市立婦人会館）が主催する講演会が開催され、花たばからも花たばネットを担当する理事を中心に参加しました。講師は関西学院大学人間福祉学部教授・藤井博志先生で、「みんなで支え合って生きる町へ＝介護保険改正と地域福祉（住民参画）＝」と題してお話しされました。

地域福祉の3つの要素は①地域ケア・地域生活支援②地域の組織化、コミュニティワーク・福祉のまちづくり③予防的な社会福祉（早期発見・早期対応）である。2025年問題（団塊世代が75歳以上になる）、介護保険制度の限界と矛盾をしっかりと見据えた地域づくりをしていくことが必要だ。その時、住民主体の「参画」「自治」が問われることになる。住民の立場で話し合う場が必要で、それをどう作り、どう政策反映させていくか課題になる等々の内容に、考えさせられること大でした。



参加者の感想

本当に必要としている人たちとつながる地域福祉を考えたい

「神戸地域福祉を考える会」の第2回学習会に参加しました。「みんなで支え合って生きるまちへー介護保険改正と地域福祉（住民参画）」をテーマに関西学院大学人間福祉学部教授藤井先生から講演を受けました。

時代の移り変わりの中で、地域とのつながりが希薄になってきており、二世帯三世帯が当たり前だった社会の頃とは違ってきています。自治が維持できないという話もよく聞きます。そういう中、1日誰とも口をきくことがない、外へ出ていくこともない、そんな人たちがたくさんこの社会に存在しています。私の知人が地域で食事提供サービスを行っていますが、本当に訪ねてきてほしい人たちは来てくれないと言われていました。本当に必要としている人たちが出てくることができない社会になっています。弱い立場の人たちほど地域のコミュニティから抜け落ちてしまうのが現状です。介護保険の改正もそれに追い打ちをかけるようになっているのではないのでしょうか。

講演を聞いて、行政からの指示待ちではなく、みんなが持っている思いを声にして届けることができる取り組みを早急に考えていかなければと思いました。少しの手助けで自分の生きたいところで暮らすことができる、そういう社会であってほしいと思います。（松永浩美）





↑花たば事務所のベランダでつるし柿。
美味しく仕上がりました。

お茶処花たばから

寒くなりました。
おぜんざいはいかがですか。

花たばのぜんざいは、お茶処を始めて以来続く定番メニューです。
小豆餡を美味しく炊いてくれるボランティアさんの協力で、いつでもご用意できます。ほんわかあったかいひと時を楽しんでください。



ぜんざい 200 円

花たばネット事務所から

☑貸しスペースのご利用について

最大 15 人くらいまでの会議やちょっとした作業スペースとしてお使いいただけます。これまで、会議の他、書き方の練習、編み物などのサークル活動にご利用があります。

月、水、金の午後は相談活動などで貸出していますが、その他はご相談に応じています。利用料は2時間 1,200 円、花たば会員又はろっこう医療生協組合員さんの活動の場としてお気軽にご利用ください。



10 周年事業へのお願い

前号でもご報告したように、来年はコミュニティハウス花たば竣工から 10 周年を迎えます。理事会・管理委員会合同で記念事業実行委員会を立ち上げ、日帰り・国内・海外の3つの旅行や祝賀会、講演会などの大枠の企画と担当を決め、具体的な相談が始まっています。
多くの方々に参加していただけるような内容にしていくためご意見をお寄せいただければ幸いです。

また、記念事業へのご寄付も受け付けます。よろしければ、ご協力お願いします。



ほっと花たばから

ネット事務所のボランティアさんにもお手伝いしていただき、どんどん季節の商品に入れ替わっています。掘り出し物も見つかるかもしれません。何より、商品選びをしながらのおしゃべりが、楽しいかな。日によって、野菜、漬物、酒粕などが並ぶことも。

寒いけれど散歩もしたい。そんな日の立ち寄り先にほっとのお店をご利用ください。リサイクル品の提供もご協力よろしく。



募っています

短歌くらぶ、一緒に始めませんか。

五・七・五・七・七の三十一文字で、自然や愛する人や動・植物を詠んだり、日々の生活の実感、時には社会の出来事も詠む短歌。三人集まれば、医療生協のサークル活動としても認定されます。一人でもできますが、数人寄れば励みにもなります。経験不問。教えてもらおうかな、と気軽に参加していただければスタートできます。お世話してくれるのは、花たば通信に作品をご紹介したこともある花たば会員の船江さんです。お問い合わせは、花たば事務所まで。

編集後記 秋らしい日がほとんどないままに真冬の寒さを迎えた、というのが実感です。10月の台風は、大風が吹いてろっこう医療生協本部の看板が落ちたり、ベランダに置いた室外機が動いたり怖い思いもありました。お変わりありませんか？ 寒くなってくると、思わず身を固くしていることが多くなりますが、ほんの少しでいいから体を動かしてみましょう。大したことでなくていいのです。じっとテレビを見た後は、両手を伸ばして深呼吸！はい、ラジオ体操のあの深呼吸です。ゆっくり、じっくり伸びをすると気持ちよくなります。椅子に座ったまま、片足を伸ばして少し持ち上げてみます。反対側も。そして、何より誰かとおしゃべり、大声で笑う時間があれば最高です。そんな時に花たばの「場所」を利用してください。お茶処も良し、ほっとのお店も楽しい。ネット事務所も複数の皆さんで心おきなく活動する場所にしてください。クリスマス会にもお越しください。一緒に大笑いしましょう。(H.O)